

静岡赤十字病院を受診された患者さんへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

承認番号 研究課題名	NO. 2023-41 COVID-19 感染拡大下における里帰り分娩支援 ～助産管理者による予約管理から見たこと～
当院の実施責任者 及び職名	1-6 病棟 助産係長 西岡恵美 助産師長 市川恵美子
多機関共同研究の場合 研究代表（責任）者	なし
研究期間（西暦）	当院倫理委員会承認後～2024年3月31日
対象期間（西暦）	2020年4月1日～2023年6月30日
研究の目的	COVID-19 感染拡大下において静岡県外より当院にて里帰り分娩をした妊婦の予約時の状況を分析することで、今後必要な支援を明らかにします。
研究の内容	<p>2019年末からの世界的な COVID-19 感染拡大により、日本産科婦人科学会・日本産婦人科医会から妊産褥婦の里帰り分娩の中止検討が提言されました。里帰り分娩は、妊産褥婦の精神的安寧を維持する為に推奨されており、当院でも、これまで年間90件程度（2017～2019年）の受け入れを行ってきました。その為、COVID-19 感染拡大後も、里帰り分娩の受け入れが継続できる方法を多職種で検討しました。</p> <p>検討の結果、これまで地域医療連携課で対応していた里帰り時の診療予約を助産管理者が対応し、その際に病院としての感染対策を直接伝達することで、安心して里帰り分娩に臨んでいただけるようにし、対象者も全妊婦に拡大しました。</p> <p>予約時に、全妊婦と助産管理者が直接電話で話す機会を設けたことで、妊婦から様々な思いを聴取することが可能となったため、3年間に渡った電話対応の内容を分析することで、今後の里帰り分娩への支援に活かせると考えています。調査項目は、1) 年齢、2) 居住地、3) 出産歴、4) 出産数、5) 診療予約時の電話回数、6) 分娩方法、7) 電話時の内容とし、1) から6) の項目を数値化し、分析、7) については、「里帰り分娩予約」として意味ある文脈を抽出し、ラベルをつけ、更に、類似する内容をまとめサブカテゴリー化、カテゴリー化し分析する質的帰納的研究となります。</p>
個人情報の取扱い	<p>研究の不参加によって、不利益が生じることは一切ありません。研究データは外部からのアクセスが出来ないパスワードで管理された院内コンピューターの電子カルテより収集します。更に得たデータは研究終了後には破棄します。データは専ら集計・数値化しており、個人が特定できる情報は使用しておりません。</p> <p>研究成果は学会などで発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。</p>

問い合わせ先
(拒否等受付窓口)

【研究担当者】

所属：静岡赤十字病院 看護部 1-6 病棟

氏名：西岡 恵美

住所：静岡県静岡市葵区追手町 8-2

電話：054-254-4311